

めて、一大目標の下に統一せられ、眞の學問の目的が達成せらるゝのである。その統一されたる眞の學問の目標とは何であるかと云ふに、之れ私の所謂人生の解釋である。私の慮る處は、今日の我日本の學問は、遂に此山嶺を以て、其到達の地としてゐる無きことである。我日本が泰西の學を採ること然く迅速にして、其得るところは其餘弊のみに終り、已に今日に至りて其餘弊に堪へざらんとする所以は此處にあるのである。また随つて權威ある哲學も出ず、根底ある科學もあらはれず、大なる文學も出で來らないのである。

私が特に、マアデン翁と其相似者としてのスマイルズ及び、ラボックを擧げて、私の淺學を顧みずして、些か駄文を草したのは、少しく此邊に見るところがあつたからである。序に斷つて置くことは、此處にラボックといへば、所謂日本の學者も敢て輕んじ無かるうが、スマイルズやマアデンの如きは、學者としては彼等或は之を冷笑し、甚しきは無視するかも知れぬが、此二人者といへど

も、其進むべきところを進み、私の所許學問の眞の目的地に達し、云はゞ富岳の山頂に跪き、天地八紘を望み、眞個に天地の大を見、無窮の人生を達觀して居るので、眞に學者の目的を達して居るのである。此點に於て此二人者も亦ラボックと其軌を一にして居るのである。而して殊に語を我日本の學生と其父兄に寄せたきは、諸君にして能く私の以上言ふところを味ふにあらずば、我日本の將來は、實に危いのである。何となれば、前に擧げたる大詔に曰へる教育の淵源を崇びて、智徳并進を努むるの途は、實に以上私の述ぶるところに外ならずと思爲さるゝからである。

孤峰生誌

附録 (終り)

マーデン博士著 上谷續先生譯

如何にして 希望を達す可きか

定價 壹圓七拾錢
郵 稅 拾 錢
四六判布製函入

スマイルスの著書「自助論」がかつて天下の青年に裨益したことは非常なるものであつた。然るに時勢は長足の進歩と多大の變化をなしたので流石の「自助論」も既に時勢後れの感なきを免れないが、マーデンの本書は一讀して現代的氣分が漲つてゐることが判然する。言々實際を穿ち、肯綮に中り、精神爽快にして、活氣縱横、眞に現代青年の經典である。……（東京朝日新聞評）

靈 感	……
希望を達する道如何	……
喜び勇むべし	……
笑門福來	……
落膽は一種の病患なり	……
其療法如何	……
山をも揺かす力	……
信仰と醫藥	……
如何にして自己を發見すべきか	……
幸福を招來する法如何	……
全身的な知識	……
自問自答式修養	……
神は我等の共同經營者なり	……

版 四 拾 四

マーデン博士著 上谷續先生譯

如何にして一身の 方向を定む可きか

定 價 貳 圓
郵 稅 拾 錢
四六判布製函入

本書は「如何にして希望を達す可きか」の姉妹篇にして、前者の理論なるに反しこれは實際的に、前者の總論的なるに比しこれは各論的に、具さに一身の方向を定め職業を撰ぶの上に於て青年諸君の爲めにその最善の指導の任に當る事を本書の使命としてゐる。成功の基は自己の材能に適する職業を撰ぶにある。

如何にして自己の特性を發見涵養して適職を撰ぶべきか？先づ本書を一讀して以て成功への必勝の鍵を得られよ。

版 六 十

内 容 大 略

職業を撰むに當りて	……
適業を求めよ	……
適材適所	……
適所を得ざる悲劇	……
選擇を誤れる職業	……
天職のある所に其の人の長所あり	……
父の業を繼ぐ事に就て	……
己の業を榮譽とする可き	……
己の業を榮譽とする可き	……
一身の方向は少年時代より	……
人格を萎縮せしむる職業	……
職業との調和について	……
職業を道樂とせよ	……
何を爲すにも全力を盡せ	……
失敗の後に成功あり	……
鍛練と努力	……
過れる選擇に執着する危険	……
過柔不斷の罪	……
小器と成る勿れ	……
成功心理學	……

如何にせば

運命を支配し得るか

忽 定價貳圓
郵税八錢
三 中型布製函入
本文三六八頁

本書の原著『The Law of Mind in Action』は英米兩國より出版され、彼地に於て精神療養上の教科書として已に定評あり。『吾等心を持つ！故に心の所現たる境遇財産健康や周囲の人々は吾等にとつて外物でない、心のまゝに支配し得るものである。』と彼は喝破してゐる。絶望、快憤、病弱、貧苦の淵に沈める者一度此の書を讀まば、直ちに希望の光明を與へられ、生命の泉を與へられ、つひに勝利の道を歩む勇者の力を獲られる。

著原スムルホ・ルエ・フエ

補譯氏春雅口谷

—(目略容内)—

心の法則	勇氣を失ふ勿れ	運命を支配する法則
理想の力	精神力を強烈ならしめよ	運命の法則行使法
一念不動	恐怖不幸災禍の原因	施法の原理
神と人	個人の心—創造者	如何なる不幸を治療するか
靈に就いて	宇宙の心—創造者	祈念の一般的形式
運命を呼ぶ法則	人間—地上の主	聖靈を促す臨床默念法
直覺力の養成法	運命を支配する武器	智慧を求むる祈念
想像の創作力	運命の選擇について	事業困難の治療
如何に心を把持すべきか		

實業之日本社長 増田義一 著

青年出世訓

定價貳圓
郵税拾貳錢
四六判上製函入

忽六版

略大容内

本書は青年の爲めに、發奮の動機を與へ、且つ其志を鼓舞激勵し、更に進んで出世の伴侶たらしめんと苦心せるもので、單に抽象的理論に偏せず、實例に徴して理論の現實化に勉め、加ふるに趣味饒多ならしむるをに努力し、且つ世間を知らざる人の爲めに其手引となり以て學校教育の不備を補ふた名著である。青年が立身出世の準備を整ふる生き字引たるのみならず、何人の爲めにも處世上の好參考書である。

特長を演説せよ……
 人格第一主義……
 下風に立つ雅量……
 熱誠の体力……
 意志の鍛錬……
 眞剣味の体力……
 運命の開拓……
 學生と思想問題……

現代青年と新思想……
 地方青年の天職……
 世の中へ出てから……
 青年出世の準備……
 自己開發に勉めよ……
 青年と煩悶の豫防……
 現實に囚はるゝ勿れ……
 自己正視を怠る勿れ……

成功を急ぐは失敗の捷徑……
 人を引き附ける力……
 注意すべき首の振り方……
 興奮抑制と沈着冷靜……
 自發的克己の修養……
 男らしき態度……
 一身上の方向轉換……

青年を毒する二潮流……
 如何にして目的を達成すべき乎……
 求職者に必要なる準備……
 科學の選擇と將來の運命……
 毛織ひの惡癖を矯正せよ……

實業之日本社長 增田義一 著

縮刷 青年と修養

定價 壹圓五拾錢
郵税 六錢
ポケット型上製

六拾八版

著者は最も多く青年に接し、同情と理解とを以て青年にその針路を示せる人、本書は青年の心を支配する凡百の煩悶に對し、明快適切なる解答を與へ、且青年時代に最も必要なる修養を懇切に説きたるもの。煩悶ある青年は勿論、將來發展せんと欲する青年の必讀書で、實に「立身の基礎」の姉妹篇である。

内容大略

昇給を辭した感ずべき青年事務員—破産の主家に踏み止つた使用人—惰夫を起たしめた奮闘兒—克己心の修養—貯蓄心なき爲失敗せる青年—虚言から破滅せる青年—世渡りに必要な心得—使用人昇進の秘訣—結婚問題に煩悶する青年—義理と情愛に迷ふ青年—内氣の青年—昇給遅き事務員—無教育青年發展の途—光明を失へる青年—兄弟の不和—父子の不和—求職相談者に多き不心得—轉職希望者へ—就職問題と學校卒業生の非常識—不振の農村青年へ—使用人昇進の秘訣—立身の根柢は奮闘主義—其他數章

實業之日本社長 增田義一 著

立身の基礎

定價 貳圓貳拾錢
郵税 拾貳錢
四六判上製

青年志を立て、發奮努力せば必ず發展するものである。併し自己の缺點を知らず又缺點を知りつゝ之を矯正せず、而して成功に必要な修養を怠つては大成が出来ない。本書は各人に共通の缺點を指摘して之が矯正を説き、進んで立身出世に最も必要なる修養を各方面より縷述し、更に世に處し人に對する態度を述べたものである。

二六六版

内容大略

第一 弱點の矯正：粗放の矯正：嫉妬心の矯正：近視慾の矯正：心の強弱：心の矯正：良心の買収：輕信の危險：調動に乗る人物：他人の美譽にケチを付ける人：對職業の根本精神：精神の貧困
第二 自信力の養成：確信の力：自重心の養成：注意力の養成：活眼の養成：應用力の修養：綜合力の養成：整理の才能：自己完成の涵養
第三 變に處するの道：失敗に處する態度：刺戟に對する心の態度：縁の下の力持：準備の必要：個性の發揮：緊張した精神：境遇を支配せよ：投機の危險：實行は最後の勝利：再起復興の力

實業之日本社長 増田義一著

大國民の根柢

定價 一圓八十錢
郵税十錢 四六判
總クローズ 函入

二十 版

左記の人々は是非本書を繕かれんことを望む。理論は堂々として首肯せしむるに足り、實例は一讀感奮興起せしむべく、加ふるに幾多學者大家の訓言を引證したるは千古不滅の價値ありと謂ふべし。本書一卷は他の數十巻を讀むに優るべく、精神修養書としては恐らく現代に最も適切なるものならん。

- | | | |
|---|---------------|----|
| 一 | 感情に走り易き人 | …… |
| 二 | 何事にも興奮し易き人 | …… |
| 三 | 自己の缺點に苦む人 | …… |
| 四 | 雅量に乏しき人 | …… |
| 五 | 底力を涵養せんと欲する人 | …… |
| 六 | 有容なる精神修養を欲する人 | …… |
| 七 | 包み力を涵養せんと欲する人 | …… |
| 八 | 持久力を涵養せんと欲する人 | …… |
| 九 | 貯蓄思想の乏しきを蘇する人 | …… |
-
- | | | |
|---|---------------------------|----|
| 〇 | 世界の常識を修成せんと欲する人 | …… |
| 一 | 深遠の人物たることを望む人 | …… |
| 二 | 大國民の特徵を知らんと欲する人 | …… |
| 三 | 歐米大國の發達を知らんと欲する人 | …… |
| 四 | 歐米大國の教育の特徵を知らんと欲する人 | …… |
| 五 | 新時代の順應する禮儀作法を知らんと欲する人 | …… |
| 六 | 職務に對する勇氣の精神を修養せんと欲する人 | …… |
| 七 | 一身の倫理の教養の材料を得んと欲する人 | …… |
| 八 | 一時の勝利の對する喜憂を講演の材料を得んと欲する人 | …… |

實業之日本社長 増田義一著

思想善導の基準

定價 一圓五十錢
郵税八錢 四六判
クローズ 函入

好評八十版

危い哉、危い哉、近來我が國民の思想著しく動搖し、今にして之れが善導を計らざれば益惡化するの惧れあり。著者常に我が帝國の現状を慮り思想の動搖を憂ふること切なり。茲に椽大の筆を振ひ、世の青年諸君の迷夢を醒まし、其歸趨を知らしめんがため本書を成す。所說急激に流れず、保守に失せず、歐米の大勢に鑑み、我が國情を顧み、而も新時代に順應すべき健全なる思想を鼓吹す。論旨堂々、愛國の熱情全巻を貫き、一讀巻を蔽ふを忘れしむ。蓋し國民思想善導の最良書。

内容

國民思想の善導：社會の重大病根：荒み行く人心の良藥：進んで難局に當る氣魄

心の体力：興國民の彈力：新努力主義：新人の新處世法：清富論：心の貧富：

精神生活の價値：新士道の提唱：人生の淨化：其他二十篇

士博學法・士博學農

著生先造稻戸渡新

修

養

識古今に互り徳一代に冠たる博士が、五十餘年の學問經驗を傾け、滿腔の熱血を注いで、品性、人格、處世法に互りて懇説せられたるもの、其説明の親切なる、其材料の豊富にして趣味深き、滾々として盡きざる天泉にも比すべし。
一度これを繕かば明鏡に向ふが如く、忽ちにして自己の歸趨を自覺し、向上發展の道を體得し得べし。蓋し古今獨歩の名著にして萬人必讀の活經典たり。

世渡りの道

七十版

定價一圓五十錢
郵稅六錢三六判

一日一言

八十版

定價一圓二十錢
郵稅四錢三五判

百九十版
定價一圓五十錢
郵稅六錢
三六判

士博學法

著生先民和田浮

生活戰術

廿二版
定價一圓五十錢
郵稅六錢三六判

自己の長短を知り、従つて自己の使命を知る時は、才能の優劣如何に拘はらず、萬人悉く成功せんこと難きに非ずとは、『生活戰術』に於ける著者の信條にして、生活戰場に勝利を得るの根本要素に即ちこゝに在りとなし、「處生學」、「生活競争の新戰術」、「組織的の協力」、「科學的努力」の四章に大別して、縱横論議せられたるもの、附録として「讀書法」以下三篇を載す。新時代に處すべき青年諸君の處世鑑として絶好書なり。
後者は『生活戰術』の姉妹篇にして著者獨特の處世哲學より人生の戰場に勝利を得る主觀的側面を専ら力説したものである。現代青年の必讀すべき活文字。

勝利への路

三版
定價一圓七十錢
郵稅八錢三六判

奮闘 活歴 血涙のあと

三 定價壹圓七拾錢
郵 稅 八 錢
版 中 型 函 入 美 本

實業之日本社編

人生固より運命の支配を免れぬ。併しながら運命と雖も必しも不可變不可動のものにあらず、最善の努力、最大の奮闘は以て運命を左右する事屢々である。本書に收むる所或は評傳あり、或は自叙傳ありと雖も、悉く當今我實業界に噴々たる盛名を成せるの人にして、凡て之れ疾風慘雨、血と涙との奮闘活歴ならざるはない。

- (目 要 容 内)
- 三菱王國の總理大臣 木村久壽彌太氏
 - 銀行界の第一人者 佐々木勇之助氏
 - 製紙界の第一人者 藤原銀次郎氏
 - 本邦石油界の巨人 内藤久寛氏
 - 本邦財界の惑星 根津嘉一郎氏
 - 日本銀行副總裁 市來乙彦氏
 - 日本銀行副總裁 木村清四郎氏
 - 正金銀行頭取 兒王謙次氏
 - 日本勸業銀行總裁 梶原仲治氏
 - 東京海上保險社長 各務謙吉氏
 - 本邦生命保險界の巨星 矢野恒太氏
 - 招請の通關から大貿易商となつた 堀越善重郎氏
 - 三井物産會社常務 小林正直氏
 - 東都實業界の立役者 藤原謙一氏
 - 大連商人から三浦製糖社長 倉知誠夫氏
 - 數寄を極めた余の奮闘史 山本糸太郎氏
 - 三井物産の總理大臣 安川雄之助氏

實業之日本社編

奮闘 活歴 裸一貫から

二廿 定價一圓七十錢
郵 稅 十 錢 四 六 判

前者に傳述する十六名士は、皆現代日本に於ける「裸一貫」のチャンピオンである。彼等が裸一貫を唯一の資本として我國の事業界に雄飛するに至るまでの慘憺の苦心を筆録す。後者は僅少の資本を以て開店幾千ならざるに一萬圓を儲け續いて今日の榮冠を得たる實業界の奮闘家二十四名士を拉し來り其の最初の一萬圓を儲けし迄の苦心談を蒐めたものである。金儲けの虎の巻であると同時に獨立開店する者の好個の相談相手である。

獨立經營 最初の一萬圓儲ける迄

九 定價一圓七十錢
郵 稅 八 錢 四 六 判

石川六郎氏著

商業 實務 出世外交術

七版 定價一圓三十錢 郵稅六錢三六版

第一章に於ては外交員の何たるかを説き、其の大體の心得を示し、第二章には外交の基本たる社交術を説明し、第三章には外交術の初歩を説き、外交に必要な諸般の事項に及び第四章應用外交術に於ては、夫れ夫れ専門的に貯金外交、保険外交、與售外交、印刷外交、販賣外交、店員外交の秘訣を述べ第五章には外交界に於ける男女の二大成功者について、其の如何にして外交に成功したるかの實際上の苦心談を掲げて實物教育に資し更に第六章に於ては、實業界に於ける成功者の傳記を涉獵して、其中より外交術修養の參考となるべき多くの逸話を集めてある。外交に従事する人は男女ともに必ず一讀を要する外交成功の虎の巻である。

ワナメーカー氏著・井關十二郎氏譯

實業訓と人生訓

十一版 定價二圓 郵稅十錢 美本 中型

本書は世界の人ジョン・ワナメーカー氏の種々の文書や談話中より苦心蒐録した實業と人生との格言を平明に譯したもので、味へば味ふほど含蓄の深い一言一句が、總べて吾々を利益し、指導し、而して力づけることの特に多大なるを信ずる。尙特に實業家諸君の爲に、約六十年前開業の當初二十餘冊の賣上げに過ぎなかつた豆大のワナメーカー商店を今日の世界一の大商店に築き上げた店の玉手函たる「ワナメーカー實業」の大意も加へて置いた諸君の爲には寔に得ぬからざる大成功の金鑰と云はなければならぬ。

前關西學院教授 興梶奎太郎氏著

複利 増進 資金運用論

四十 定價一圓三十錢 七版 郵稅 六 錢

著者は致富の要訣として題して曰く「徒らに他の千百萬金を羨まんよりは我が十金の運用を志せよ」と。誠に至言である。本書は右のモットーにより資金の調達法より放資、放資物の研究、株券等に對する總ての調査を遂げ、親切に平易に一讀何人にも致富の活路を開きたる名著である。

法 學 士 細 貝 正 邦 氏 著

經濟記事の讀み方

百版 定價一圓二十錢 郵稅 六 錢

本書は國民生活に影響する所甚だ多き經濟界日常の出來事に對する理解の能力を一般の人々に與へんがために論述されたものにして、内容を不景氣、好景氣、好景氣の半面、正貨問題、我が國産業の將來等の項目に分ち、平易に經濟上の原則、政策、事情等を説明するに努めた、特に材料の蒐集には著者が多大の苦心を拂つたものである。經濟事情の一般に通ぜんと欲する者のためには絶好の手引である。

12891 冊

改新らしい言葉の字引

百三
十版

服部嘉香氏
植原路郎氏 共著

定價二
郵税十
錢 圓

新らしい外來語の字引

版三

田中孝一郎氏著

定價一圓五十錢
郵税六
錢

新らしい政治制度の字引

版三

河瀬蘇北氏著

定價一圓五十錢
郵税六
錢

新らしい商業經濟の字引

版十二

河瀬蘇北氏著

定價一圓七十錢
郵税六
錢

新らしい世界常識の字引

版六

河瀬蘇北氏著

定價二
郵税八
錢 圓

新らしい主義學說の字引

版三十

勝屋英造氏著

定價三
郵税八
錢 圓

新假名遣と常用漢字の字引

新刊

文學士
三並 健作氏著

定價貳圓
郵税八
錢

525

263

終

